

令和4年度進行管理・評価シート
弘前市歴史的風致維持向上計画（平成31年3月26日認定）
（最終変更令和4年3月 日）

□進捗評価シート(様式1)

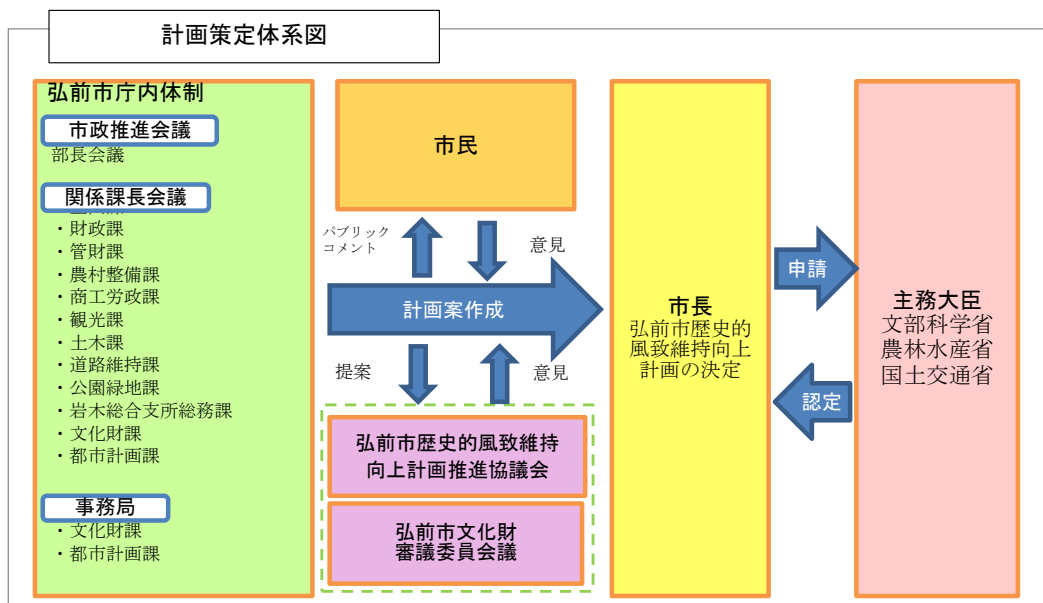
①組織体制(様式1-1)		
1 弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会の開催		1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 趣のある風景情報発信事業		2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 弘前城本丸石垣整備事業		3
2 鷹揚公園整備事業		4
3 景観重要建造物等保存・改修費助成事業		5
4 趣のある建物情報発信事業		6
5 弘前市仲町伝統的建造物群保存地区修理修景事業		7
6 主要地方道弘前岳鱒ヶ沢線整備事業		8
7 追手門広場改修事業		9
8 松並木保存管理事業		10
9 津軽塗後継者育成研修事業		11
10 津軽塗技術保存伝承事業		12
11 弘前市民俗文化財用具修理事業		13
12 レッツウォークお山参詣開催		14
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存、文化財の修理・整備		15
2 保存・活用を行うための施設の設置、 文化財の周辺環境の保全、文化財の防災		16
3 保存・活用の普及と啓発		17
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 地域や仲間 伝統つなぐ		18
2 コロナ禍も観光客1.5倍 ガイド活動が奏功		
3 西濠の春陽橋改修		
4 街のシンボル 事務所に		
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 景観ブースの開催		19

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	20
--------------------------------------	-----------

評価軸①-1
組織体制

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会の開催		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	必要に応じて国や青森県と協議を行い、助言や支援を得るとともに、弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会において、計画掲載事業の進捗状況等について、報告、意見の聴取等を実施することで計画の実効性を高めるとともに、必要に応じて計画の変更を行なうこととする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
※開催後記載			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き、関係者間での連絡を保ちながら、実効性のある推進体制を維持する必要がある。		

状況を示す写真や資料等



●弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会

- (1) 開催日 対面開催 令和5年3月24日(金)
- (2) 案件 歴史的風致維持向上計画推進協議会委員の委嘱について
令和4年度 進行管理・評価シートについて
弘前市歴史的風致維持向上計画の変更について



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
趣のある風景情報発信事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 自然・歴史・文化に彩られた景観を守り、育むため、市民の意識醸成を行い、市民と一体となった景観保全を進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年度に市民から応募のあったビューポイントをまとめた「趣のある風景散策ガイドマップ」を市民や観光客に情報発信し、弘前市の景観をPRするため、市内各所の施設等に設置、「趣のある建物散策ガイドマップ」と共に配布した。(配布部数 約10,000部)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

—

状況を示す写真や資料等

【趣のある風景散策ガイドマップ】



【弘前さくらまつりに出展した景観ブースでの設置状況】
(令和4年4月29日、30日、5月1日出展)



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
弘前城本丸石垣整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成19年度～令和7年度

支援事業名 国宝重要文化財等防災施設整備費補助金(文化庁補助事業)

計画に記載している内容 重要文化財である弘前城天守が載る本丸東面と南面の石垣に崩落の危険性があるため、平成19年度から調査・測量を開始し、本丸石垣修理委員会等の指導を受けながら、計画的に石垣の保存修理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

今年度は、石垣東面(北側)積直し工事の最終年度であり、石垣天端から4段下までの約910石を積直した。工事では、経年劣化した法面の近世盛土を掘削する必要があることから、発掘調査を実施した。なお、8月に発生した大雨では、新たな湧水を複数地点で確認したことから、弘前城跡本丸石垣修理委員会等の指導を経て追加の対策を講じた。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

各専門分野の有識者の指導により計画的に保存修理を実施する必要がある。

状況を示す写真や資料等

【委員会等の開催日時及び会議内容】

○弘前城跡本丸石垣修理委員会

第1回 令和4年9月27日 石垣積直し工事進捗状況及び8月の大雨による追加の湧水対策について現地説明、今後のスケジュールについて

第2回 令和5年3月28日 石垣積直し工事進捗状況及び天守耐震補強について等

【石垣東面(北側)積直し工事概要】

- ・工事期間:令和2年9月26日～令和5年3月20日
- ・工事内容:石垣修復準備工、石材ストックヤード整備工、新補石材調達工、石垣修復工、井戸遺構復旧工、排水石積遺構復旧工、湧水箇所排水対策工、仮設工

【石垣東面(南側)積直し工事概要】

- ・工事期間:令和4年12月21日～令和7年3月15日
- ・工事内容:石垣修復準備工、石材ストックヤード整備工、新補石材調達工、石垣修復工、湧水箇所排水対策工、仮設工、雑工

【積直し工事に伴う発掘調査に関する実施概要】

- ・調査期間:令和4年6月～12月
- ・調査内容:石垣積直しにあたって、経年により風化した法面や大雨の影響を受けた近世盛土等を掘削する必要があることから、発掘調査を実施した。その結果、近世盛土の下層に堆積する縄文時代晩期後葉の遺物包含層から、縄文土器や石器が多量に出土した。

【第1回石垣修理委員会 現地説明状況】



【石垣修復工】



【湧水箇所排水対策工】



【発掘調査状況】



評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
鷹揚公園整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成20年度～令和8年度

支援事業名 防災・安全社会資本整備交付金(都市公園・緑地等事業)

計画に記載している内容 当市の中心に位置し、約49haの面積を持つ鷹揚公園(弘前公園)は、国指定の史跡であるとともに、「弘前さくらまつり」の期間中だけで、約200万人を超える観光客が訪れる都市公園だが、園内施設の老朽化が著しいため施設整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

今年度は、城内にある春陽橋の木部更新工事、下乗橋の木部更新工事のための実施設計、また、緑の相談所改修に向けた老朽度調査業務を実施した。

- ・春陽橋木部更新工事:N=1橋
- ・下乗橋木部更新工事実施設計:N=1橋
- ・緑の相談所老朽度調査:N=1棟

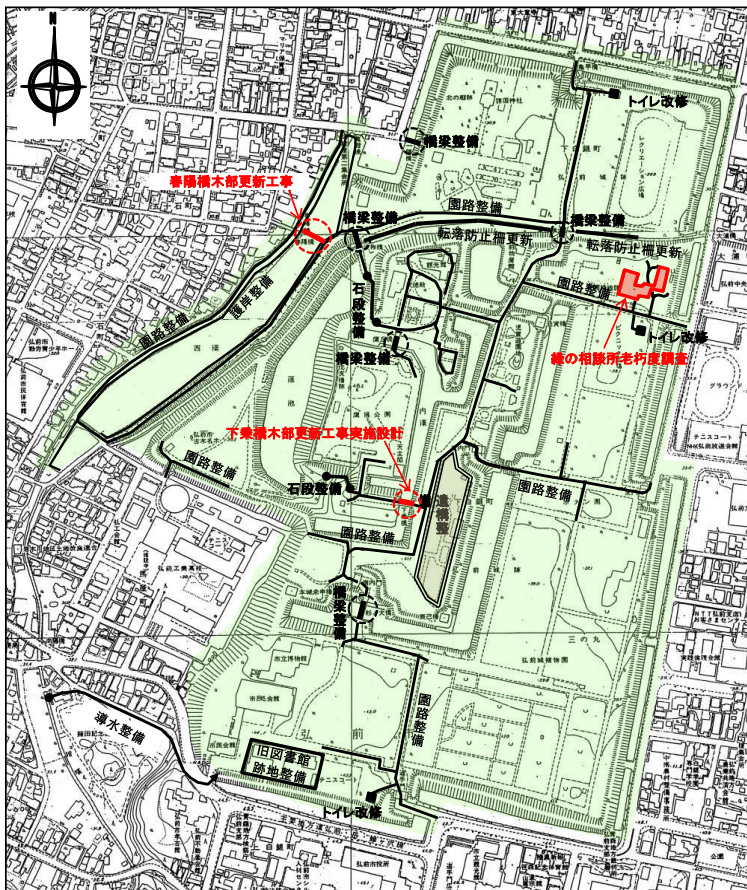
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



R3年度迄整備 :
 R4年度整備 :

【春陽橋木部更新状況】



【緑の相談所老朽度調査状況】



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
景観重要建造物等保存・改修費助成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～令和10年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的建造物の多くは良好な景観を形成しているものの老朽化や消失が著しいため、景観法に基づく景観重要建造物及び歴史まちづくり法に基づく歴史的風致形成建造物に指定し、その保存及び改修費に係る経費の一部を助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「開雲堂」(景観重要建造物・令和元年5月30日指定・第15号)について、強風により破損した正面2階窓を現状復帰のために修繕工事を行い、費用の一部を助成した。「一戸時計店」(歴史的風致形成建造物・令和3年5月20日指定・第7号)について、経年劣化が著しい1階内装を往時の姿に再現し、事務所、集会所兼見学施設とするため、また破損した時計塔の外観と時計機能を復旧するための修繕工事を行い、費用の一部を助成した。

進捗状況 ※計画年次との対応

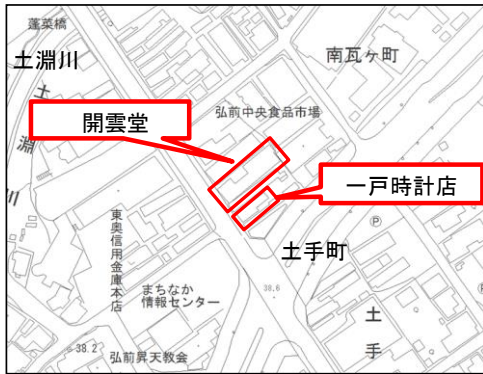
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

歴史的建造物の特徴、価値を明確にしたうえで景観重要建造物と歴史的風致形成建造物に指定し、その価値を維持・向上する保存修理を進める。

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



○景観重要建造物「開雲堂」修繕
【修繕箇所】

施行前



施行後



○歴史的風致形成建造物「一戸時計店」修繕
【修繕箇所】

施行前



施行後



評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
趣のある建物情報発信事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成20年度～令和10年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容	文化財の指定を受けていない古い建物を「趣のある建物」として指定し、市民や観光客に情報発信する。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「趣のある建物」を市民や観光客に情報発信するために、指定建物を中心に観光施設等でガイドマップを配布した。(配布部数 約20,000部)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	—

状況を示す写真や資料等

【趣のある建物散策ガイドマップ】



【弘前市役所での設置状況】



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
弘前市仲町伝統的建造物群保存地区修理修景事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成18年度～令和10年度

支援事業名 伝統的建造物群基盤強化事業(保存修理)

計画に記載している内容 仲町伝統的建造物群保存地区は弘前公園の北側に位置し、地区住民の協力を得ながら仲町地区武家屋敷の特徴である屋敷構、家屋、生垣等を継承している。地区住民に対し、主屋や門、板塀、サワラ生垣の修理修景に必要な経費の一部の補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度弘前市伝統的建造物群保存地区内修理修景事業費補助金
 ・修理事業費補助金(3件) 総事業費2,108,000円 補助金交付額1,434,000円(主屋修理・庭園整備・生垣修理)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 保存活用計画見直しにより伝建地区として保存していくべきものについて範囲が拡大した最初の年度でもあり、これまでになかった庭園整備等を実施した。引き続き、所有者の経費負担の支援の拡充について検討していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

・修理事業【サワラ修理】



・修理事業【主屋修理】



工事名	小原名修理工事
工種	修繕
位置	内子
設計手法	
実施手法	
立合書	OK-0008

・修理事業【庭園整備】



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
		現在の状況
主要地方道弘前岳繆ヶ沢線整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～令和5年度

支援事業名 防災安全交付金

計画に記載している内容 主要地方道弘前岳繆ヶ沢線の未無電柱化区間は、沿道には重要文化財である旧第五十九銀行本店本館、景観重要建造物である三上ビルがあり、さらにねぶた運行ルートでもあることから、良好な景観形成を図るため電線類を地中化する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で


弘前市民中央広場に隣接する区間については、令和3年度に電線地中化と歩道のロードヒーティングの設置が完了し、1年を通しての快適な歩行空間の確保並びに、良好な景観が創出されております。今後は 桜の名所の観光地である弘前公園と土手町商店街を結び、ねぶた運行ルートとなっている一番町工区の電線地中化について、沿線住民の協力を得ながら参画事業者と調整を図り、工事着手に向けた取り組みを進めて参ります。

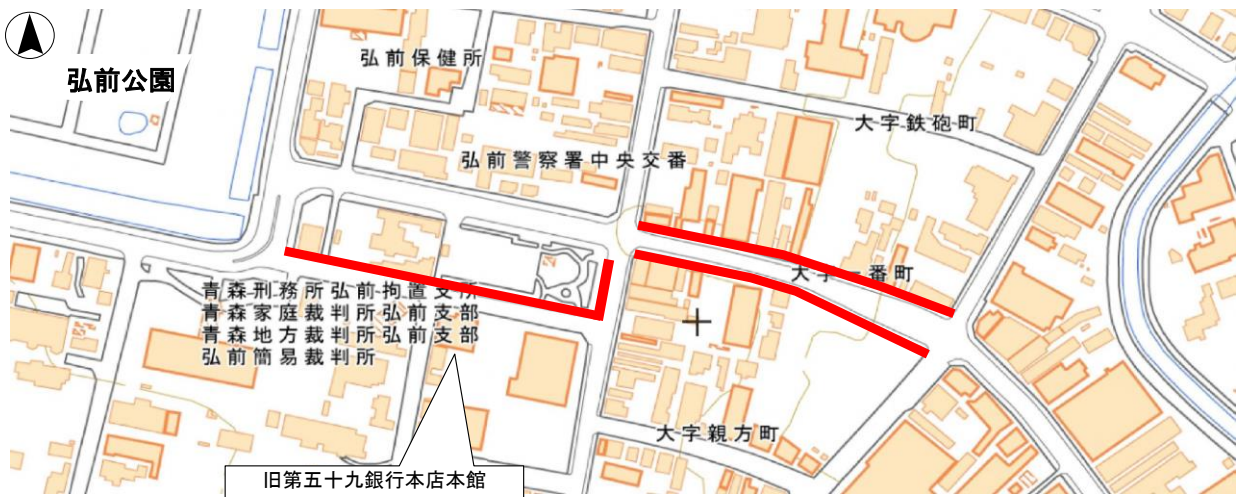
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

一番町工区の整備については、令和3年度までに実施してきた課題整理に基づき、今年度は交通量等の調査や地元住民との協議を進めており、来年度の設計に向け電線地中化の参画事業者等に対し速やかな協議・調整を図ることとしている。

状況を示す写真や資料等

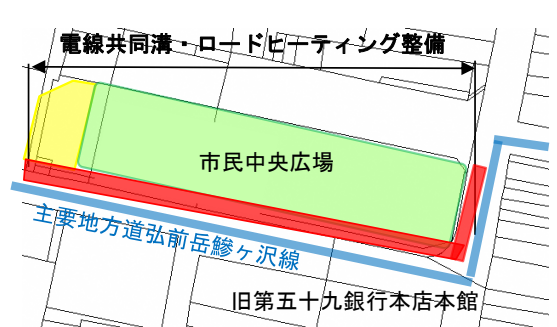
【事業位置図】  …主要地方道弘前岳繆ヶ沢線整備事業(ロードヒーティング整備済み)






【事業箇所】ロードヒーティング整備完了後



【事業箇所】



-  …主要地方道弘前岳繆ヶ沢線整備事業(整備済み)
-  …市民中央広場整備事業(整備済み)
-  …市民中央広場整備事業(拡張予定)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
追手門広場改修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 弘前公園に隣接し、県の有形文化財(建造物)旧東奥義塾外人教師館等が配置され当市の観光・文化拠点となっている追手門広場の舗装の補修、障害者誘導ブロックの改修、ミニチュア建造物上屋及び案内板の整備等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

弘前公園周辺の歴史的風致の維持・向上を図るため、ミニチュア建造物の修理を弘前工業高等学校のご協力のもと行った。
2か年で、国重要文化財・旧第五十九銀行本店本館のミニチュア建造物の修理を行った。

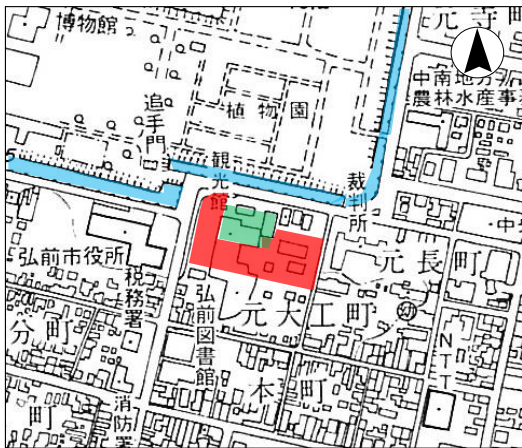
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

来年度も引き続き経年劣化したミニチュア建造物の修理事業を実施する。

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



【ミニチュア建造物修理現地作業状況】



【ミニチュア建造物修理前後状況】



評価軸③-8

歴史的風致維持向上の施設の整備又は管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
松並木保存管理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成19年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 県の記念物に指定されている百沢街道および高岡街道の松並木は岩木山神社及び高照神社の神社建築や民間信仰行事のお山参詣と一体となって、岩木お山参詣地区の歴史的風致を形成している。この松並木の樹勢を維持させるため、松周囲及び周辺緑地の草刈りと清掃、サワラ生垣の刈込、肥料の打ち込み等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○松周囲及び周辺緑地の環境整備
 ①草刈り(年2回)
 観光シーズンが到来する新緑の時期と、お山参詣が開催される旧暦七月晦日前までにそれぞれ実施。
 ・1回目:5月30日～6月7日実施
 ・2回目:8月19日～24日実施
 ②サワラ生垣の刈込(年1回)
 時期は問わないが、初夏から秋にかけて葉が生い茂るため、秋の行楽シーズン(岳きみ)到来までに実施。
 ・9月9日～13日実施
 ③施肥
 ・11月7日実施
 ・施肥実施対象木:62本中17本(百沢街道)、15本中5本(高岡街道) 計22/77本
 ・使用する化成肥料:18g/本(N:P:K=17:10:10)
 マツ1本に対し10～16本使用(幹回りに応じて調整) 総打込み本数:284本




進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 お山参詣に見る歴史的風致の維持及び向上のため、松並木のマツ及び周辺環境を計画的に維持管理することで、景観形成及び文化財(県記念物)である松の生育状況を良好に保つことが必要である。



状況を示す写真や資料等

○松周囲及び周辺緑地の環境整備



①草刈り(百沢街道)

【施行前(1回目)】 令和4年5月30日	【施行後(1回目)】 令和4年5月30日	【施行前(2回目)】 令和4年8月19日	【施行後(2回目)】 令和4年8月24日
			

②サワラ生垣刈込

【施行前】 令和4年9月9日	【施行後】 令和4年9月13日	【施工のようす】	
			
		百沢街道	高岡街道

③施肥【施工のようす】

	
百沢街道	高岡街道

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
津軽塗後継者育成研修事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成19年度～令和10年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容	津軽塗業界の高齢化に伴う後継者不足を解消するため、津軽塗を生業として目指す若者を対象に津軽塗の基礎技術を体得するための研修を行う団体に対して経費の一部を助成する。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【令和4年度実施状況】
 研修生:6名(令和5年1月現在)
 研修期間:6期生2名⇒令和2年9月～令和6年3月
 7期生3名⇒令和3年10月～令和7年3月
 8期生1名⇒令和4年9月～令和8年3月
 研修項目:津軽塗に関する講義、木地作り、下地作り、道具の使い方、津軽塗4技法習得のための技術研修及び成果発表展示。
 研修時間:月・水・金の午前9時から12時まで
 ※これまで14名が研修を修了し、うち7名が津軽塗職人として活動中。

 令和4年度の成果発表会は令和5年3月上旬に開催予定。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 研修終了後の雇用先の確保が困難となっているため、市内の津軽塗関連事業者と連携し、さらなる技術研鑽や津軽塗業界での就業ができるようサポートを行っていく。
--	---

状況を示す写真や資料等







研修風景



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
津軽塗技術保存伝承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成18年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	津軽塗の重要無形文化財への指定、津軽塗技術保存会の保持団体への認定によって全国的に価値が認められる一方、その技術を継承する後継者の不足が課題となっているため、津軽塗技術保存会に対し、会員の技術の研鑽及び後継者育成を行う活動経費の一部を助成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
津軽塗技術保存会が実施する技術の研鑽及び後継者育成に必要な経費の一部を補助。 <津軽塗技術保存会 令和4年度活動状況> (1)後継者育成:塗研修生2名、木地研修生1名 フォローアップ研修生 塗1名、木地2名 (2)再現作品制作:津軽家に伝来した漆塗手板の技法を用いた津軽塗作品を制作。 令和5年3月9日に会員による講習会を開催。 (3)成果発表会:これまでの活動について紹介するとともに、伝承者育成事業の研修生の制作作品等を展示 令和4年4月29日～5月1日 旧紺屋町消防屯所(弘前市) 令和4年11月11日～13日 旧紺屋町消防屯所(弘前市)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		後継者育成における、講師の確保などの体制構築が急務である。	
状況を示す写真や資料等			
【後継者育成研修の様子】			
			
【成果発表会の様子】			
			

評価軸③-11 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
弘前市民俗文化財用具修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和58年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	弘前市の指定無形民俗文化財を伝承する各団体は、その母体が地区の集落単位であり、有志による運営が多いことから財政基盤が弱く、伝承活動に必要な用具の確保が困難な状況になっているため、必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら伝承活動に必要な用具の修理や更新に係る経費の一部の補助を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
県指定無形民俗文化財大沢獅子舞保存会・弘前市指定無形民俗文化財松森町津軽獅子舞保存会・烏井野獅子踊保存会の用具の修理・更新の経費の一部に対して補助金を交付した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	後継者の裾野を広げるため、更なる普及活動等が必要である。		
状況を示す写真や資料等			
<p>【獅子頭ケラ(大沢獅子舞保存会)】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>修理前</p>  </div> <div style="font-size: 2em;">➔</div> <div style="text-align: center;"> <p>修理後</p>  </div> </div> <p>【紋付更新(松森町津軽獅子舞保存会)】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>更新前</p>  </div> <div style="font-size: 2em;">➔</div> <div style="text-align: center;"> <p>更新後</p>  </div> </div> <p>【幕更新(烏井野獅子踊保存会)】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>更新前</p>  </div> <div style="font-size: 2em;">➔</div> <div style="text-align: center;"> <p>更新後</p>  </div> </div>			

評価軸③-12 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
レッツウォークお山参詣開催		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和59年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重要無形民俗文化財であるお山参詣を市民や観光客が体験できるように、一般の人が参加できる「レッツウォークお山参詣」を開催する団体へ助成を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
レッツウォークお山参詣実行委員会(事務局:岩木山観光協会)に対して事業費の一部補助を行ってのイベント開催を計画していたが、県内外から多くの観光客を呼び込んで行うイベントであるため、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みて令和4年度もイベント開催を中止した。代替事業として、実行委員会の会員でもある津軽岩木スカイラインの8合目休憩所にお山参詣に関する装飾を行い、市民・観光客の歴史的風致に対する理解促進等を図った。また、同様に市立観光館内の多目的ホールにて「岩木山に棲む展」を開催し、民俗学的な観点から歴史的風致の維持向上を図った。 お山参詣に関する装飾:8月22日～8月27日 「岩木山に棲む展」:1月7日～9日			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		新型コロナウイルス感染症の影響を見つづになるが、歴史的風致の維持・向上に資するものであることから、来年度も事業を実施したい。	
状況を示す写真や資料等			
			
津軽岩木スカイラインでのお山参詣装飾状況			
			
「岩木山に棲む展」の開催状況			

評価軸④-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
文化財の保存、文化財の修理・整備	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 弘前に残る歴史的なまちなみ、伝統工芸や民俗芸能を保存するため、所有者や保存団体との連携を深めて、保存修理や伝承活動への助成を適正に実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財の保存
 - ①市有形文化財の指定:2件(考古資料2件)
 - ②民俗芸能団体に対する後継者育成事業等への補助(3団体)。伝統工芸(津軽塗)後継者育成への補助。
- 文化財の修理・整備
 - ①弘前城跡整備
 - 1)津軽氏城跡保存修理事業(再掲)
 - ・弘前城本丸石垣整備事業(H19~R6年度)
 - 令和4年度は、本丸東面北側石垣の積直し工事を進めた。
 - ②誓願寺山門保存修理事業
 - 事業期間:R2~R4年度
 - 令和4年度は耐震補強工事の実施、報告書を刊行。
 - ③弘前城二の丸南門・三の丸追手門保存修理事業
 - 事業期間:R3~R4年度
 - 令和4年度は、屋根葺き直し工事や部分工事、耐震補強工事等を実施した。
 - ④高照神社文庫解体保存事業
 - 事業期間:R4年度
 - 雪害でき損した文庫の保存修理のため、部材を解体保存した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財の本質的価値を守るため、適正な資金計画が必要である。

状況を示す写真や資料等

文化財の修理・整備

①弘前城跡整備

本丸東面北側石垣積み直し工事



本丸東面北側石垣積み直し工事
(栗石の投入)



②誓願寺山門保存修理事業
耐震補強工事



耐震補強工事(袖塀復旧)



③弘前城二の丸南門・三の丸追手門保存修理事業

二の丸南門屋根葺替



三の丸追手門耐震補強



④高照神社文庫解体保存事業
搬出作業



解体工事



評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
保存・活用を行うための施設の設置、文化財の周辺環境の保全、文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 史跡である大森勝山遺跡のガイダンス施設の整備などの進展に伴い、先史時代について深く学ぶ施設等の整備を目指す。また、仲町伝統的建造物群保存地区において防災計画の見直しを進める。さらに、重要文化財(建造物)等の防災設備及び防犯設備の整備を順次進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○文化財の防災・防犯

①木村産業研究所防災設備設置事業

事業期間: 令和4年度

木村産業研究所の適正な管理のため、防災設備を設置した。

②乳井神社社殿防災設備設置事業

事業期間: 令和4年度

市指定有形文化財乳井神社社殿の適正な管理のため、防災設備を修理した。

③仲町伝統的建造物群保存地区防災計画見直し事業

事業期間: 令和3~4年度

昭和55年度策定の防災計画見直しのため、令和3年度から調査を開始。

④文化財防火デー(1月26日)に合わせて、旧第五十九銀行本店本館にて火災防ぎょ訓練を実施。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

ハード整備とともに、ソフト面での体制づくりを進める必要がある。個別文化財の防災計画について、所有者との連携で作成を目指す。

状況を示す写真や資料等

①木村産業研究所防災設備設置事業

未 定

②乳井神社社殿防災設備設置事業

未 定

③仲町伝統的建造物群保存地区防災計画見直し事業



④文化財防火デー火災防ぎょ訓練



評価軸④-3 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
保存・活用の普及と啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財建造物の一般公開と修理現場の公開を行う。また、民俗芸能等の記録保存を行うとともに、公開・情報発信できる場を設けるように支援する。さらに、史跡等で発掘現場を公開し、その成果を積極的に発信する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○保存・活用の普及と啓発 ①「文化財指定庭園保護協議会」開催 全国の指定庭園の周知と適正な管理のための意見交換等を実施。市内6庭園を見学。(6月23日、24日に実施。参加人数:100人) ②「ちびっこ縄文講座」開催 市内の小学生を対象に、地区内に残る文化財の調査学習や土器づくり体験などを実施。 (7月19日、9月29日、10月13日に実施。参加人数:延べ63人) ③「歴史体感ツアー」開催(9月10日、11日に実施。参加人数:延べ36人) ④「小学校史跡見学会」開催 市内の小学生を対象に、大森勝山遺跡、堀越城跡、弘前城跡を見学。(参加校数:20 参加人数:延べ1,020人) ⑤「大森勝山じょうもん祭り」開催(7月31日開催。参加人数:224人) ⑥「堀越城秋まつり」開催 史跡を会場に、見学ツアーやシンポジウムなどを開催。(10月2日開催。参加人数283人) ⑦「まちなかクラフト村」開催 市内の工芸品の展示・販売を実施。(4月9日～12月26日 計8回実施。参加人数:延べ5,556人) ⑧「まいぶん講座」開催 学識経験者や市の担当者などが埋蔵文化財について市民向けに講座を開講。 (7月17日、10月16日、2月12日開催。参加人数:〇〇〇人) ⑨その他学習支援及び一般説明等 小中学校の学習支援として文化財の公開活用及び一般市民等への説明等を実施。(実施回数〇〇回 参加人数:〇〇〇人)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財保護の裾野をひろげるためにも小中学校との連携は今後も継続して実施していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
①文化財指定庭園保護協議会 令和4年6月23日・24日 参加人数:100人  	②ちびっこ縄文講座 令和4年7月19日～10月13日 参加人数:延べ63人  		
③歴史体感ツアー 令和4年9月10日～9月11日 参加人数:延べ136人  	④小学校史跡見学会 令和4年5月19日～10月31日 参加人数:延べ953人  		
⑤大森勝山じょうもん祭り 令和4年7月31日 参加人数:224人  	⑥堀越城秋まつり 令和4年10月2日 参加人数:283人  		
⑦まちなかクラフト村 令和4年4月12日～令和5年2月12日 参加人数:延べ6,807人 	⑧まいぶん講座 令和4年7月17日、10月16日、令和5年2月12日 参加人数:延べ82人  		
⑨その他学習支援等 令和4年4月20日ほか 参加人数:延べ1,376人 			

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和4年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
地域や仲間 伝統つなぐ	R4.7.30	東奥日報	
コロナ禍も観光客1.5倍 ガイド活動が奏功	R4.8.7	陸奥新報	
西濠の春陽橋改修	R4.9.1	陸奥新報	
街のシンボル 事務所に	R4.12.9	東奥日報	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文献登場から300年という節目の年であった「弘前ねぶたまつり」は、2年ぶりの開催ということもあり、連日メディアで取り上げられ懐かしい賑わいを見せた。「北海道・北東北の縄文遺跡群」は世界文化遺産に登録されてから一年経ち、ボランティアガイドの活動も順調に進み、大森勝山遺跡に赴く観光客は増加している。また、弘前公園内の春陽橋や歴史的風致形成建造物・景観重要建造物の改修等にも尽力した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし		新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、今後とも、工夫しながら計画を着実に推進し、実施事業等を報道機関に取り上げられる機会を増やす。	
状況を示す写真や資料等			
<p>※新聞記事の画像は協議会終了後、新聞社に著作権の許可を得た後に掲載</p>			

評価軸⑥-1

その他(効果等)

評価対象年度 令和4年度

項目

景観ブースの開催

計画に記載している内容 地域の歴史資源の認識のさらなる向上のため、文化財に指定されていないものの、当市の風情を醸し出している建物の情報発信に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

令和4年4月29日・30日、5月1日に弘前公園で開催した「弘前さくらまつり」において、趣のある建物・風景、前川建築等、景観事業全般についての周知を行う景観ブースを開催したことにより、市民の景観や歴史的建造物の保全に対する意識啓発や景観資源の気づきの向上が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

広聴広報課のシティプロモーションブース(現存12天守パネル展及び、各天守のパンフレット・記念品配布等)と協同出展したことにより、幅広い世代へ弘前市の近代建築及び景観をPRすることができた。また、GW期間中のさくらまつりということもあり、県外観光客が圧倒的に多く、なかなか県外の方に配る機会がなかった前川建築カードや各種パンフレットを配布することができた。今後も、弘前市の景観や地域資源についての意識啓発など、全世代に触れやすい機会の創出に取り組んでいく必要がある。

状況を示す写真や資料等

【景観ブース(弘前さくらまつり) 令和4年4月29日・30日、5月1日】

○配付実績 前川建築カード 約44枚(29日9枚、30日25枚、1日10枚)

各種パンフレット 約350冊



法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度

令和4年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称:弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会

会議等の開催日時:対面開催(令和5年3月24日)

※意見等を取りまとめ後、記載。

(今後の対応方針)